

CHOFU

石油瞬間給湯器
〔石油小形給湯機〕

停電時自立型

エコフール 取扱説明書 (保証書付)

型名

EHI-4565SG-2



ご使用前のお願い

- 本書にはリモコンおよびバックアップ電源ユニットの操作説明は記載されていません。
リモコンおよびバックアップ電源ユニットに付属している「取扱説明書」と併せてお読みください。

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この機器は、消費生活用製品安全法の『特定保守製品』に指定されています。
ご使用前に、『所有者票』（製品に添付）を返送していただき、所有者登録を行ってください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20838070 (M)

取扱説明書をお読みになる前に



機器の排気タイプとご自宅の混合水栓のタイプを確認してください。

排気タイプは？

- 本書では必要な項目で機器の排気タイプを記載して説明しています。
以下の表で排気タイプを確認してください。

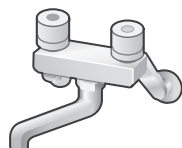
☐ 無煙突タイプ	☐ 強制排気タイプ
 拡散排気筒がついている。	 排気筒がついている。

☐太枠内に✓(チェックマーク)を記入しておく、今後お読みになるときに役立ちます。

混合水栓のタイプは？

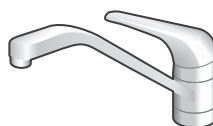
- 本書では2ハンドル混合水栓で説明をしていますが、必要な項目では混合水栓のタイプを記載して操作方法を説明しています。

2ハンドル混合水栓



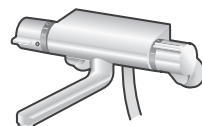
給湯栓(お湯)と給水栓(水)を回して温度を調節します。

シングルレバー混合水栓



レバーの位置を変えて温度を調節します。

サーモスタット付混合水栓



温度調節ハンドルで温度を調節します。

イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

困ったときは？

停電した！
お湯を使う方法は？

▶ 14ページ

もっと節電したい…

▶ 16ページ

お手入れは
どうしたらいいの？

▶ 22～25ページ



地震や火災が起きた！

▶ 5ページ(地震や火災などの緊急時の処置)

給湯器の動きが
いつもと違う

▶ 27・28ページ

リモコンにエラーコード
が出ている！

▶ 30・31ページ

も く じ

ご使用の前に

取扱説明書をお読みになる前に	2
特に注意していただきたいこと	4
ご使用前の準備と確認	
(燃料)	10
(給油)	10
〔油切れ予告装置(別売部品)について〕	10
(点火前の準備と確認)	11
各部の名称(外観図)	12

必要なときに

停電中に給湯器を使う(バックアップ運転)	14
みんなで節電する	
(ピークシフト運転)	16
(ピークシフト運転をする)	16
冬期の凍結による破損防止について	
(凍結予防)	17
(水抜き後の再使用のとき)	20
(凍結したとき)	21
長期間使用しない場合	21
日常の点検・手入れ(点検・手入れの必要事項、時期、方法)	22
定期点検	26
法定点検	26
故障かな?と思ったら	
(修理を依頼する前に)	27
(安全装置)	29
(その他の装置)	29
(エラーコード)	30
部品交換について	32
仕 様	33
据付け	34
試運転	34
保証書	巻末
アフターサービス	裏表紙

特に注意していただきたいこと

- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。	 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。		

警告

●排気筒はずれ危険(屋内設置の場合)

(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



●排気筒閉そく危険(屋内設置の場合)

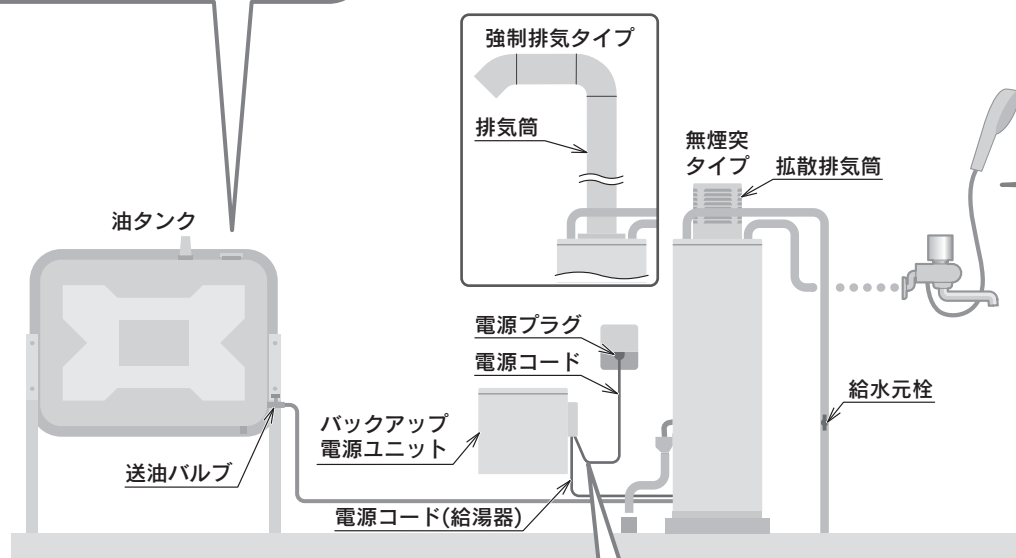
(酸欠事故・火災・過熱の原因)

排気筒がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



●電源コードは切断して延長しない

(火災・感電・発熱の原因)

電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。絶対に電源コードを切断して延長しないでください。



●お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

	ガソリン厳禁		濡れ手禁止		分解禁止		接触禁止		一般的な警告・注意
	高温注意		感電注意		アースを接続する		電源プラグを抜く		

⚠ 注意

●改造使用の禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)
絶対に改造して使用しないでください。安全装置の無効化などは機器の安全性を損ないます。



●改造・分解禁止

(火災・感電・漏電などの思わぬ事故の原因)
絶対に改造や分解は行わないでください。改造や分解は機器の安全性を損ないます。



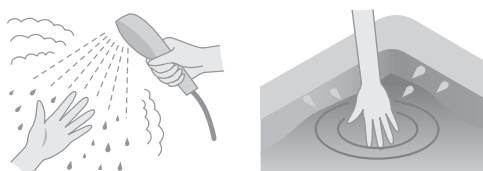
高温注意



●シャワー使用中は使用者以外がお湯の温度を変えない

使用者以外の人がお湯の温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切換えたりすると、突然熱湯や冷水が出て、やけどや思わぬ事故の原因になります。

●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる (やけどのおそれ)



●お湯を使用中は温度変化に注意する

以下の場合は一時的に熱いお湯が出ることがありますので、やけどに注意してください。

- ・お湯を止めた後に再使用するとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・他の場所で大量に水を使用したとき



異常・故障時使用禁止



(事故の原因)

1. 以下の場合はずちに使用を中止する
 - ・点火しない、機器が使用中で消火した
 - ・使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた
 - ・ススが出る
 - ・油が漏れている
2. 「故障かな?と思ったら」に従い処置を行う [27～31ページ](#)
3. 処置を行っても直らない場合は使用を中止し、お買い求めの販売店に連絡する

地震や火災などの緊急時の処置



1. すぐに使用を中止し、リモコンの運転スイッチを「切」にする
2. 送油バルブ・給水元栓を閉める
3. バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にする
4. 機器の損傷を確認し、お買い求めの販売店に連絡する

●家庭用以外の使用禁止

(思わぬ事故や故障の原因)
この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

可燃物禁止

- 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない

(火災の原因)

新聞紙・灯油・木材・洗濯物などを置かないください。



- 機器の上や周囲に引火性危険物を置いたり、使用したりしない

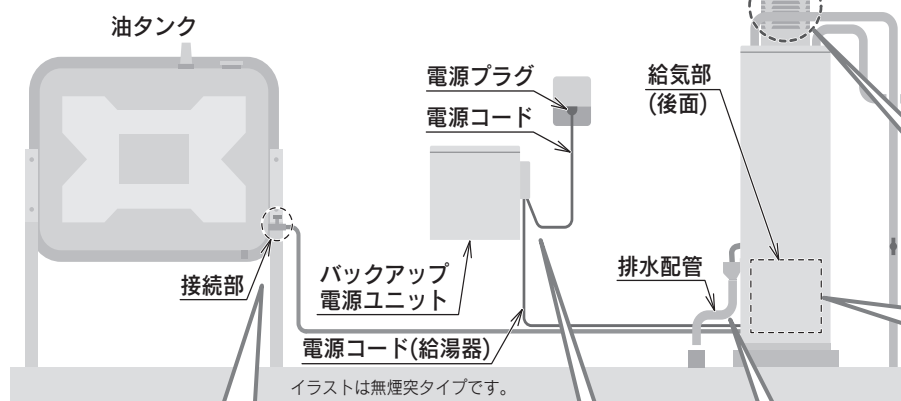
(爆発や火災の原因)

引火性危険物とは、ガソリン・ベンジン・スプレー缶・カセットコンロ用ボンベなどです。スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは熱で缶の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

高温部接触禁止

- 燃焼中や消火直後は高温部（機器・排気筒・拡散排気筒）に手など触れない

(やけどのおそれ)



拡散排気筒
排気口

強制排気タイプ
排気口
排気筒

無煙突
タイプ

- 給気部や排気口に指や棒を入れない

(けがや事故の原因)



- 油漏れに注意する

(火災の原因)

機器や油タンクの送油経路、特に接続部に油漏れがないことを確認してください。



- 排水配管から排出される水を飲用・飼育用などに使用しない

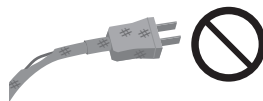
(健康を害するおそれ)



電源コード、電源プラグ、アースについて

- 傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

(火災や感電の原因)



- 電源コードに無理な力を加えない

(火災や感電の原因)

- ・ 無理に曲げない
- ・ 引張らない
- ・ ものを載せない
- ・ 衝撃を与えない



- 傷つけたり、破損させたりしない

(火災や感電の原因)



- 電源コードを引張って電源プラグを抜かない

(火災や感電の原因)



- 電源コードは束ねたまま使用しない

(火災や発熱の原因)



- 電源プラグを抜いて停止させない

(火災や故障の原因)



使用上の注意

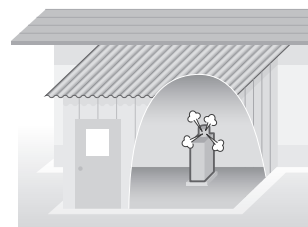
- 給湯・シャワー以外には使用しない
(思わぬ事故の原因)
- 機器内のお湯を排水するときはやけどに注意
機器内のお湯を排水するときはやけどに注意してください。熱湯が排水されることがあります。運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。
- 純正部品以外は使用しない
(事故や故障の原因)
- 機器の設置・移動・取りはずしおよび付帯工事は、必ずお買い求めの販売店に依頼する
(火災・感電・事故の原因)
- 長期間使用しないとき
(火災や思わぬ事故の原因)
「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。 **19ページ**



囲い禁止(屋外設置の場合)

(不完全燃焼や火災の原因)

- 設置後、増改築などにより屋内状態にしない
- 機器や排気口などを波板やビニール、工事に使用した養生シートなどで囲わない
- 外壁工事などで機器全体が養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

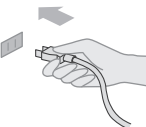


- 電源プラグを濡れた手で触らない
(感電するおそれ)

雨が降っているときは電源プラグの抜き差しをしないでください。



- 電源プラグは確実に差し込む
(火災・感電・発熱の原因)



- 電源プラグのほこりは定期的にくもとる

リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから、給湯器の電源プラグおよびバックアップ電源ユニットの電源プラグを抜いてください。ほこりを乾いた布でふきとってください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。



- アースを確認する

(感電するおそれ)

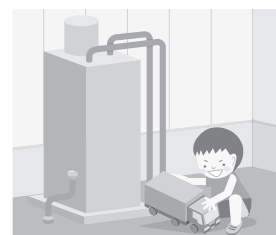
この機器はアースが必要です。アースがされていない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



子どもに注意する

(思わぬ事故の原因)

- 子どもを浴室で遊ばせない
- 子どもだけで入浴させない
- 子どもを機器の周囲で遊ばせない



- 浴そうのふたに乗ったり手をついたりしない

ふたがはずれておぼれたり、やけどなど思わぬ事故の原因となります。



特に注意していただきたいこと

お願い

停電時の注意

●冬期に停電したとき

凍結により機器が破損するおそれがありますので、給湯器の使用後はリモコンの運転スイッチを押して「切」にし、凍結予防の「じゃ口から水を流す方法」または「機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。**18・19ページ**（停電およびバックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。）

断水時の注意

●断水したときは運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、断水復帰後に水が流れ続けます。

●断水復帰直後のお湯は飲用や調理に使用しない （健康を害するおそれ）

飲用や調理に適さない水が配管にとどまることがありますので、断水復帰後は給湯栓を開けて充分水を流してから使用してください。

リモコンの注意

●子どもにいたずらさせない

（事故や故障の原因）

●分解したり乱暴に扱ったりしない

（故障の原因）

●防水形増設リモコンに水・シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

防水形でも、大量の水・シャンプー・リンス・入浴剤などをかけると故障や変色の原因になることがあります。

●台所リモコンに水や水しぶきをかけない

（故障の原因）

炊飯器や電気ポットなどの湯気にも注意してください。

●掃除のときは、ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナー・塩素系カビ洗浄剤・酸性浴室用洗剤を使用しない

（印刷や塗装のはがれ・傷・変色などの原因）

●リモコンのふたは閉じる

（故障や破損の原因）

操作が終わった後は必ずリモコンのふたを閉じてください。

雷発生時の注意

●雷が鳴りはじめたらリモコンの運転スイッチを「切」にし、バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜く



雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがあります。

●雷がやんだ後は、バックアップ電源ユニットの電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントに差し込む

（感電するおそれ）

電源プラグを濡れた手で触らないでください。



使用上の注意

●機器の近くに電気器具を置かない

テレビの映像が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。

●エルボトップの真下にもものを置かない

エルボトップから排ガス中の水分が結露して滴下することがあります。真下にもものなどを置かないでください。



●点検・整備のためのサービススペースを確保する

前パネル側は必ず60cm以上あけてください。（工事説明書参照）

●高地で使用するときはご相談ください

（燃焼不良の原因）

標高1,000～1,300mの高地で使用するときはお買い求めの販売店にご相談ください。

標高1,300mを超える場所では使用できません。

●地下水・井戸水使用時の注意

上水道の使用をおすすめしますが、地下水や井戸水も使用できます。

ただし、地下水や井戸水を給水したことにより発生した析出物（炭酸カルシウムなど）に起因する故障修理は、保証期間内でも有料になります。

●温泉水は使用しない

温泉水を使用すると、水質によっては故障することがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

以下の場合取扱説明書に従って処置を行う

● リモコンにエラーコードを表示したとき

30・31 ページ

(火災や事故の原因)

処置を行わないで何度もリセットを繰り返さないでください。

● 凍結のおそれがあるとき 17～19 ページ

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。

凍結により機器が破損した場合の修理は保証期間内でも有料になります。

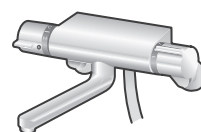


混合水栓について

● 通水抵抗が少ないもの、シャワーヘッドの圧力損失が少ないものを使用する
(出湯量が少なくなる可能性)

● 水圧が低い地域では泡沫水栓・浄水器を使用しない

● サーモスタット付混合水栓の使用を推奨
(やけど防止)



積雪時の注意

● 点検・除雪を行う

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。

雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。

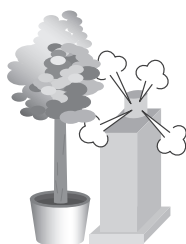


機器内のお湯(水)について

● 機器や配管に長時間たまった水や朝一番のお湯は、飲用や調理に使用しない
(健康を害するおそれ)
雑用水として使用してください。

排ガスについて

● 植物やペットなど、排ガスによって悪影響を受けるものを周囲に置かない



● 排ガスを直接、建物の外壁・窓・ガラス・アルミサッシや塗装部分にあてない

(変色・破損・腐食の原因)

ご使用前の準備と確認

燃料

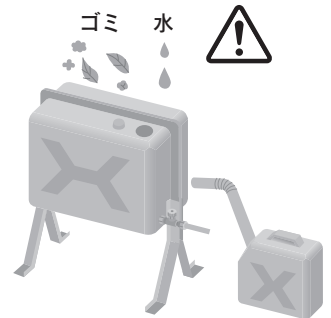
警告

- ガソリン・ベンジン・シンナー・重油・軽油やその他のものが混入した灯油は火災や故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

給油

給油の際の注意

- 必ずリモコンの運転スイッチを「切」にしてから行ってください。
- 水やゴミなどが入らないように特に注意してください。
- 給油後は給油口ふたを確実に閉め、こぼれた灯油をふきとってください。



燃料切れに注意

注意

- 頻繁に燃料切れを起こしリセットを繰り返すと、バーナーの性能低下によりススが出て、建物の壁などを汚すおそれがあります。
- 燃料切れを起こさないように、こまめに油タンクの油量計を確認して早めの給油を心がけてください。

燃料切れをしたときは

給油してください。すぐに給油できないときは、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

- リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示します。 **30・31ページ**

給油後にリセットすると、送油経路の空気が抜けて燃焼を再開します。

(送油経路の空気が抜けるまでは振動音が出たり、リモコンに「110」または「120」のエラーコードを表示して停止したりしますが故障ではありません。連続燃焼するまでリセット操作を行ってください。)

■リセットの方法

リモコンの運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にします。

2、3回リセットしても直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

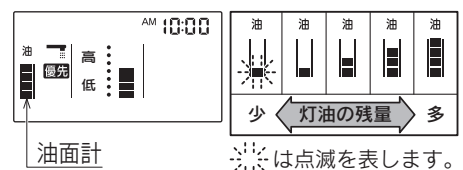
約8回リセットを繰り返すと、お客様によるリセットができなくなりますので注意してください。

油切れ予告装置(別売部品)について

- 油切れ予告装置を取付けると台所リモコンで給油の時期を確認することができます。
- 油切れ予告装置は「OC-5」と「OC-31」の2種類あります。

OC-5を取付けたとき

- 台所リモコンに油面計を表示させ、油タンク内の灯油の残量を5段階で表示することができます。
- 油面計の1段目が点滅すると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。
- 設定は油切れ予告装置に付属の説明書をご覧ください。



OC-31を取付けたとき

- 灯油の残量が少なくなると、リモコンにエラーコード「830」を表示してお知らせします。(OC-31は油面計を表示しません。)
「830」を表示しても機器はすぐに停止しません。すみやかに給油してください。

点火前の準備と確認

1 機器および周囲の確認をする

機器本体・排気筒・拡散排気筒・油タンクの上や周囲に燃えやすいものや引火性危険物、また排ガスによって悪影響を受けるものを置かないでください。 **6・9ページ**
給気部・排気口がふさがれていないことを確認してください。



2 給水元栓を開ける

機器や接続部から水漏れしていないことを確認してください。

3 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める

4 油タンクの送油バルブを開ける

油タンクや送油管の接続部などから油漏れがないことを確認してください。

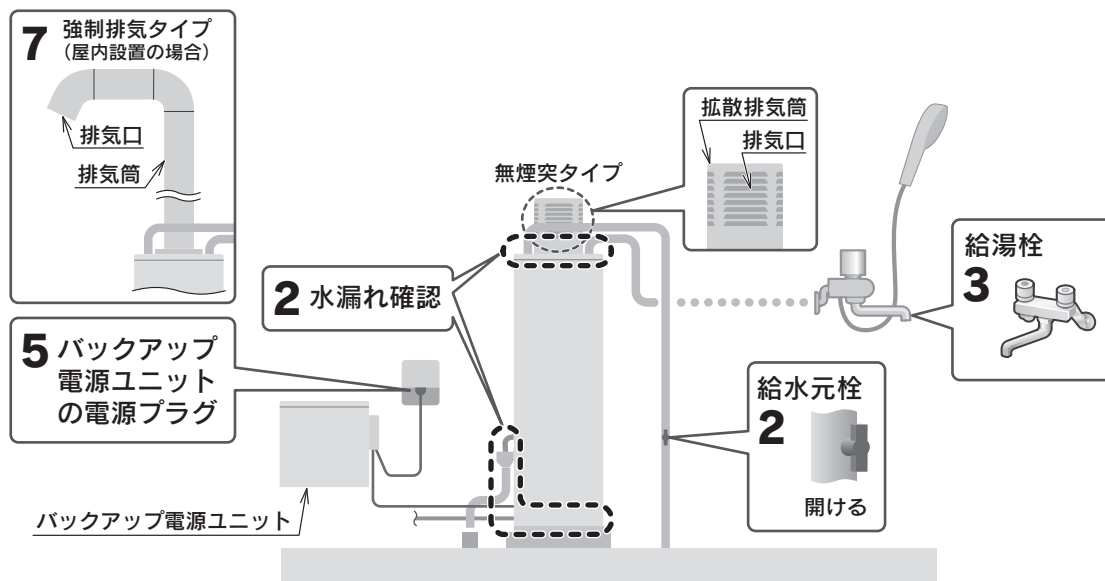
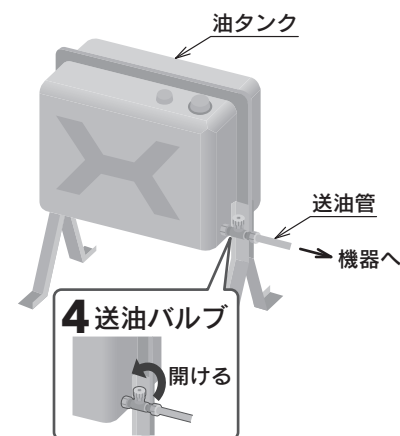
5 バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込む

この機器はAC100Vです。200Vに接続すると機器が破損します。

6 バックアップ電源ユニットの運転スイッチを押して電源を「入」にする **12ページ**

7 排気筒の確認(屋内設置の場合)

排気筒の接続部に緩みやはずれがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



無煙突タイプと強制排気タイプの違いは拡散排気筒と排気筒の違いのみです。

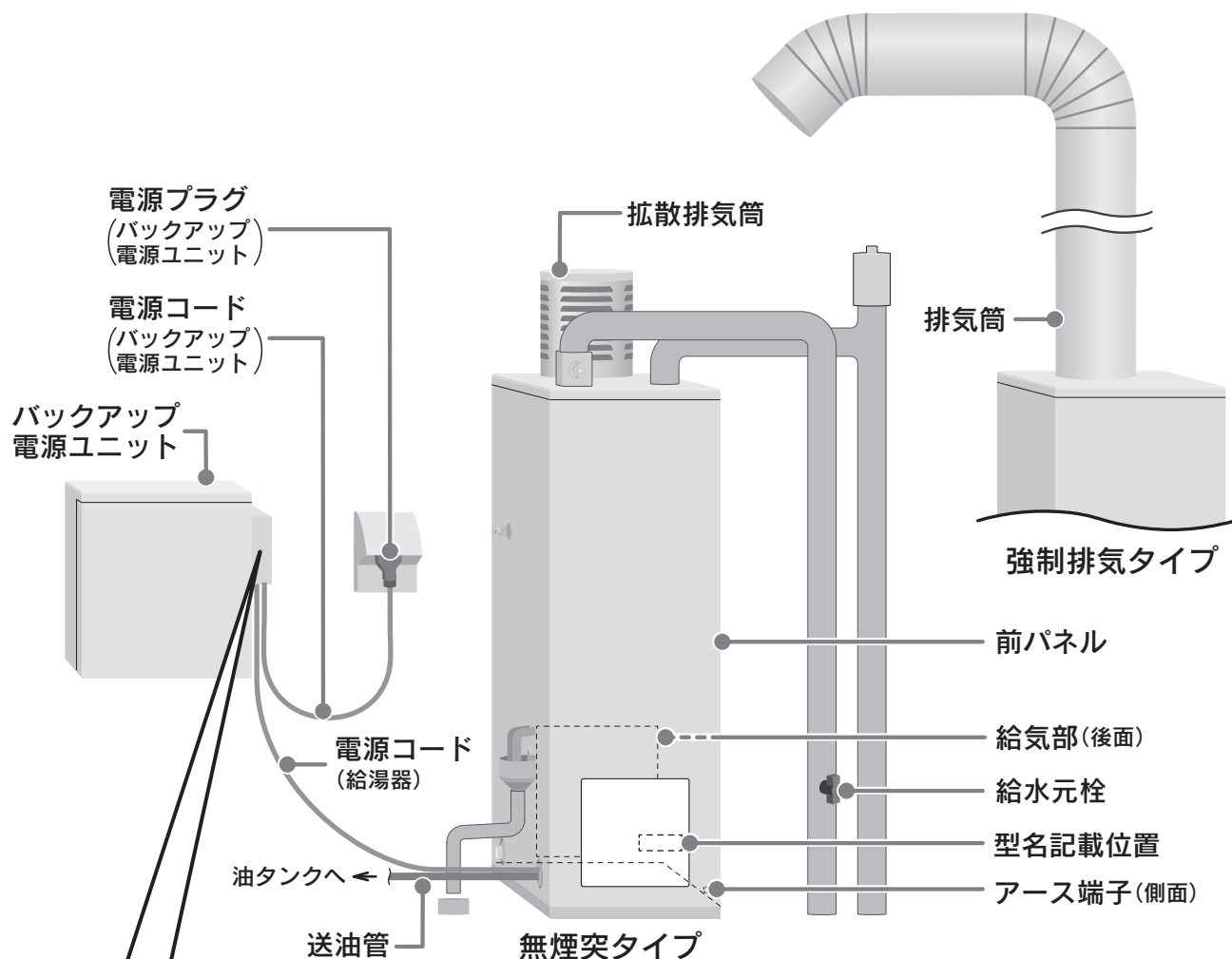
各部の名称

外観図

イラストはイメージです。

無煙突タイプ(屋外設置) ……拡散排気筒(Rトップ)取付時

強制排気タイプ(屋内外設置) …排気筒取付時



運転スイッチ (運転ランプ)

運転スイッチが「入」になると運転ランプが約5秒間点灯し、以降は約5秒ごとに点滅します。

給湯器電源出力コンセント

電源コード (給湯器)

給湯器通信線

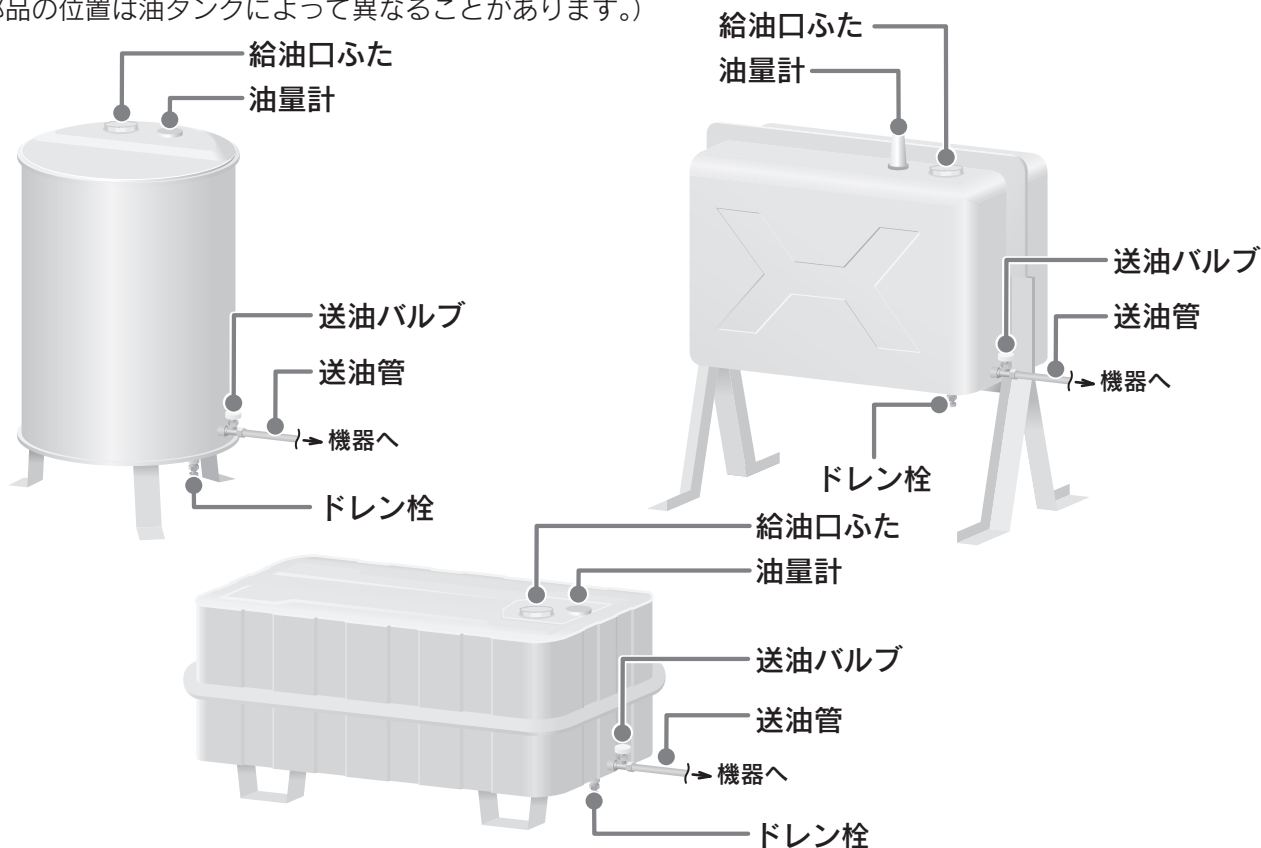
給湯器通信線接続コネクタ

外部電源出力コンセント

リモコンケーブル接続端子台

油タンク(別売部品)

- 別売の油タンクは3種類の形状があります。
(部品の位置は油タンクによって異なることがあります。)



バックアップ電源ユニット関連の表示(リモコンの表示画面)

- バックアップ電源ユニット関連以外の内容は、別売のリモコンセット付属の「取扱説明書」を参照してください。

表示画面

ユニット異常表示

バックアップ電源ユニットが故障したときに点滅します。

バッテリー交換表示

バッテリーの交換時期になると点滅します。

バッテリー充電中表示

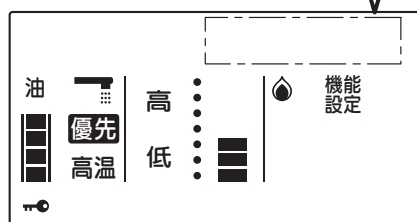
バッテリー充電中に点滅します。

CH LC EE LS

バッテリー残量表示

使用できるバッテリーの残量を6段階で表示します。
バックアップ運転中に表示します。

バッテリー残量表示	バッテリー残量
L5	多 ↑ ↓ 少
L4	
L3	
L2	
L1	
点滅	



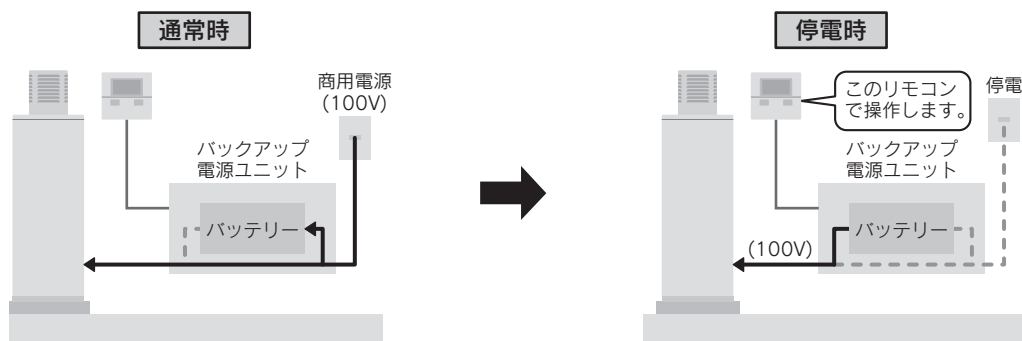
表示画面は説明のためのもので実際とは異なります。

停電時に給湯器を使う

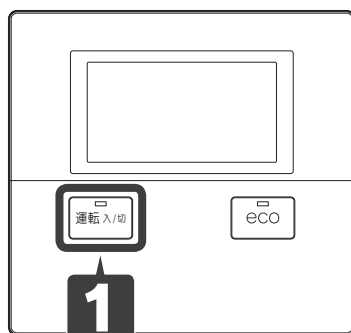
バックアップ運転

停電が発生したときにバックアップ電源ユニットからの電源に切換えて、お湯を使用することができます。

電気の流れ



- 約10秒間停電すると、リモコンの運転スイッチが「切」になり給湯器が停止します。
1分間以上経過した後、バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで以下の操作を行ってください。



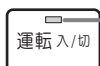
※操作説明はバックアップ電源ユニットに台所リモコンを接続している場合です。

1

運転入/切

を押して「入」にする

- 運転スイッチが「入」になるとリモコンの運転ランプが点灯します。



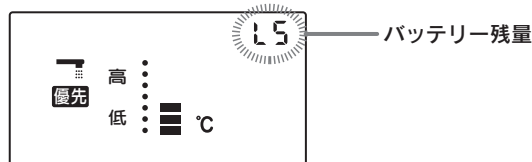
運転ランプ点灯

約20秒間経過

リモコンの表示画面が点灯してお湯が使用できます。

- バックアップ運転中はリモコンにバッテリー残量を表示します。

13ページ



バックアップ運転中は…

- 給湯温度は4段(約45℃)に固定されます。(変更できません。)
- 表示画面は暗く点灯します。(変更できません。)
- 「eco機能」・「ピークシフト運転」は使用できません。

停電復帰

自動的に商用電源に切りかわり、通常通り使用できます。

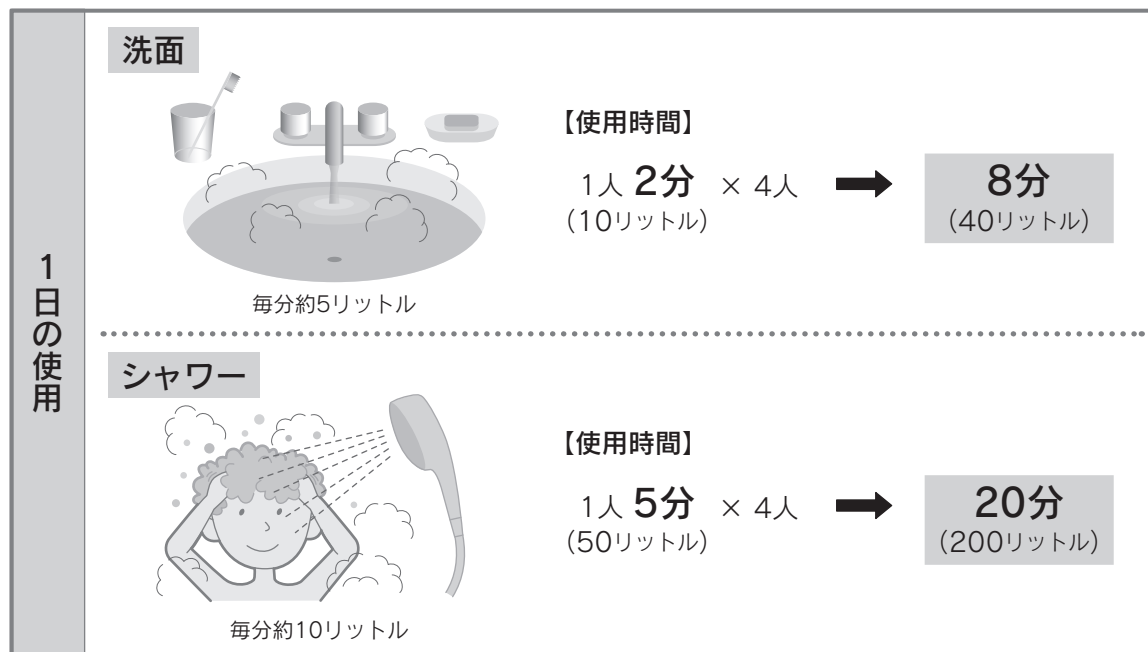
お知らせ

- バックアップ電源ユニットの電力消費を抑えるためにリモコンの運転スイッチを「切」にしてから約1分以内、または運転スイッチを「入」にしてから約10分間経過すると、バックアップ運転を停止します。
再度お湯を使用するときは、1の操作を行ってください。
- バックアップ運転時は凍結予防装置は作動しません。
停電時に凍結のおそれがあるときは、お湯を使用した後リモコンの運転スイッチを「切」にして、「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」の処置を行ってください。19ページ
- やけどなどの事故を防止するため、停電が復帰して商用電源に切りかわっても停電前の給湯温度には戻りません。
- バックアップ電源ユニットの詳しい取扱いについては、バックアップ電源ユニットに付属の取扱説明書を参照してください。

バックアップ運転でお湯が使える時間のめやす

- 洗面でお湯を24分使用した場合、シャワーは約60分使用できます。
※洗面に毎分5リットル、シャワーに毎分10リットルのお湯を使用した場合
- 他の電気器具を使用した場合は、お湯が使える時間(使用できるお湯の量)が少なくなります。

4人家族の場合の使用例



※()内は使用するお湯の量

3日間の
洗面使用時間

24分

×3日

3日間の
シャワー使用時間

60分

使用の前に

必要ときに

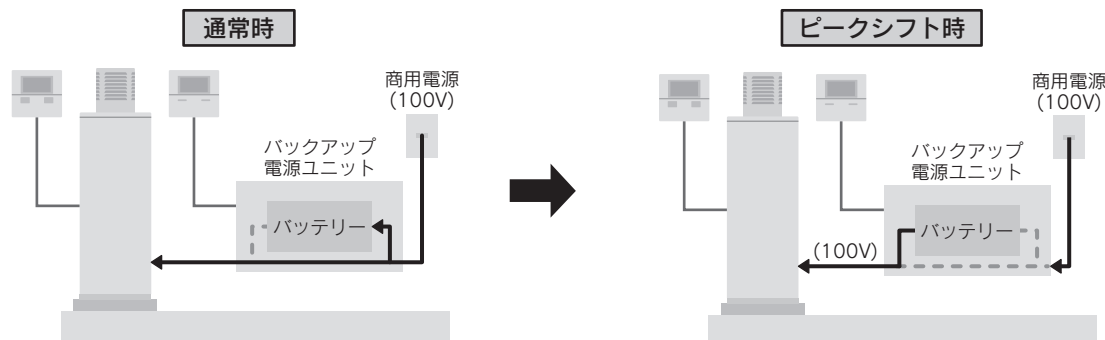
みんなで節電する

ピークシフト運転

お客様が設定した時間帯にバックアップ電源ユニット(バッテリー)の電力を優先的に使用して、給湯器を動かすことができます。夏の昼間など電力使用量が多い時間帯の使用量を抑え、電力負荷の集中を緩和することができます。

ピークシフト運転を行うためには、別売の増設リモコン(CMR-2501SV)が必要です。

電気の流れ



- ピークシフト運転中も通常通り使用できます。(機能制限はありません。)
- ピークシフト運転中でも以下の場合は商用電源に切り替わります。
 - ・リモコンの運転スイッチを「切」にした場合(「入」にすると、バックアップ電源ユニットに切り替わります。)
 - ・バックアップ電源ユニットのバッテリー残量が少なくなった場合
- ピークシフト運転中に停電を検知すると、停電時の動作に切り替わります。 14ページ

ピークシフト運転をする

- 別売の増設リモコン(CMR-2501SV) 付属の取扱説明書に従って、「ピークシフト時刻の設定」と「ピークシフト運転の設定」を行ってください。

冬期の凍結による破損防止について

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

凍結予防

凍結予防には「凍結予防装置による方法」、「バーナーを運転させる方法」、「じゃ口から水を流す方法」、「機器内の水を抜く方法」があります。

凍結予防装置による方法(自動)

外気温が下がると自動的に凍結予防ヒータに通電し、機器内の給水経路を保温します。

- 1 バックアップ電源ユニットの電源プラグが差し込まれていることを確認する
- 2 バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていることを確認する [12ページ](#)
- 3 給湯器の電源プラグがバックアップ電源ユニットの給湯器電源出力コンセントに差し込まれていることを確認する [12ページ](#)

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカを「切」にしたりすると作動しませんので、注意してください。
- リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。

バーナーを運転させる方法

冷え込みが厳しいときは「凍結予防装置による方法」に加えて、バーナーを運転させ、機器内の給水経路の凍結を予防します。

- 1 給湯栓を閉める
- 2 リモコンの運転スイッチを「入」にする
- 3 リモコンの給湯温度を1段に設定する

お知らせ

- 配管やバルブなどの凍結予防はできませんので十分に保温してください。
- 特に冷え込みが厳しいと予想される日には、給湯温度を一度7段に設定してしばらく(数分間)おき、機器内のお湯の温度を上げてから、1段に設定してください。
- バーナーを運転する前に凍結していないことを確認してください。凍結したまま運転すると機器が破損するおそれがあります。
(リモコンの運転スイッチを「切」にして給湯栓を開けてください。お湯が出れば凍結していません。)
(確認後リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。)

冬の凍結による破損防止について

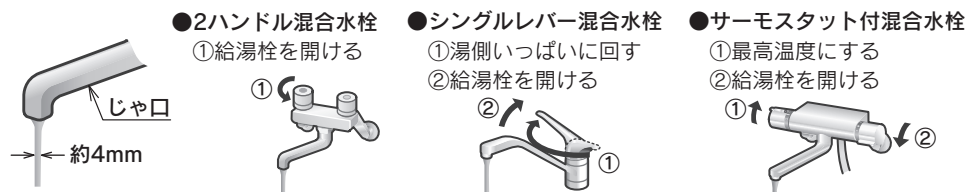
じゃ口から水を流す方法

冷え込みが厳しいときや風が強いときは、「凍結予防装置による方法」に加えてじゃ口から少量の水を流して給水・給湯配管やバルブなどの凍結を予防します。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

2 給湯栓を開ける

じゃ口から毎分約400cc(約4mm)の水を流したままにします。



3 30分後に水の量を確認する

流量が不安定なことがあるため確認を行います。

お知らせ

- 水を流す混合水栓は屋内の1箇所がかまいません。おふろの混合水栓から浴そう内に流せばたまった水を洗濯などの雑用水として使用できますのでムダになりません。浴そうにじゃ口が届かない場合は、じゃ口で流量を確認した後、シャワーに切換えて浴そう内に流してください。

機器内の水を抜く方法(冬期に長期間使用しないとき)

長期間使用しないときや電源プラグを抜くときは、この方法で行ってください。
この方法では配管やバルブなどの凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。



警告

●機器内のお湯を排水するときは運転を停止し、機器が冷めてから排水してください。熱湯が排水されることがありますのでやけどに注意してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする ※運転スイッチが「入」のとき

2 2分間以上経過してからバックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にする 12ページ

3 バックアップ電源ユニットの電源プラグを抜く 12ページ

4 給水元栓を閉める

5 缶体排水栓を開ける

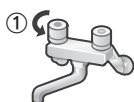
6 水フィルタ ①をはずす (※1) (※2)

7 補助熱交排水栓 ②・中和器排水栓 ③を開ける (※2)

8 すべての給湯栓(シャワーなどを含む)を開ける

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする

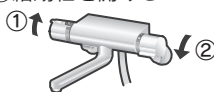
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける

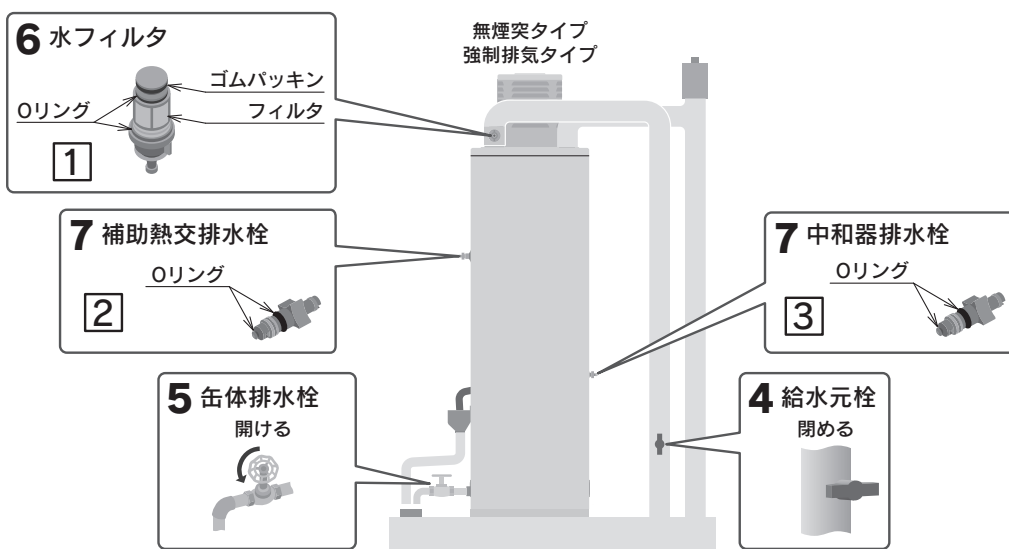


イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

水抜き終了後、水フィルタ・補助熱交排水栓・中和器排水栓は、次にお使いになるまではずしたままにしてください。
(なくさないように注意してください。また、水フィルタのフィルタを変形させたり、水フィルタと排水栓のOリング
やゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。)

※1 水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

※2 水が出ますので、機器を屋内に設置している場合は受皿などを準備して水を受けてください。
(出てくる水の量は機器内の残水や配管などの条件によって異なります。)



イラストは無煙突タイプです。

お知らせ

●再使用するときは「水抜き後の再使用のとき」に従ってください。 20ページ

冬の凍結による破損防止について

水抜き後の再使用のとき

中和器に水を流す必要はありません。

1 缶体排水栓を閉める

2 水フィルタ **1**・補助熱交排水栓 **2**・中和器排水栓 **3** を取付ける

3 給水元栓を開ける

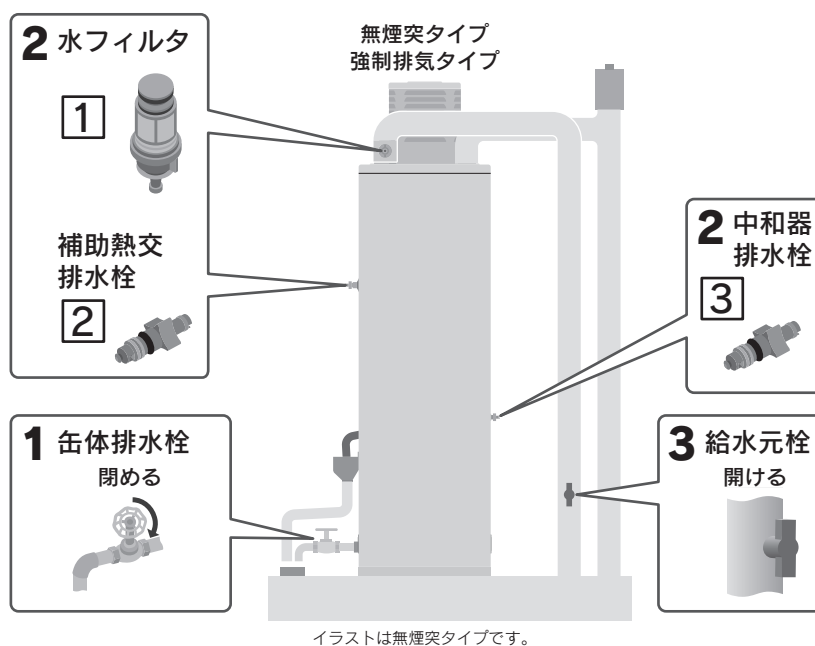
4 すべての給湯栓から水が出ることを確認して閉める

水が出にくい場合は凍結していることがありますので、水が正常に出ようになってから運転してください。
確認せずに使用すると機器が破損することがあります。

5 バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込む **12ページ**

6 バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にする **12ページ**

7 「ご使用前の準備と確認」とリモコンに付属の取扱説明書に従って使用する



凍結したとき

給湯栓を開けてもお湯も水も出ません。自然解凍するまでお待ちください。
解けて水が出るまでは、以下の手順に従ってください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

※運転スイッチが「入」のとき

2 ときどき給湯栓を開ける

〈じゃ口から水が出ない場合〉

まだ凍結しています。給湯栓を閉め、時間をおいて再度**2**を行ってください。

〈じゃ口から水が出た場合〉

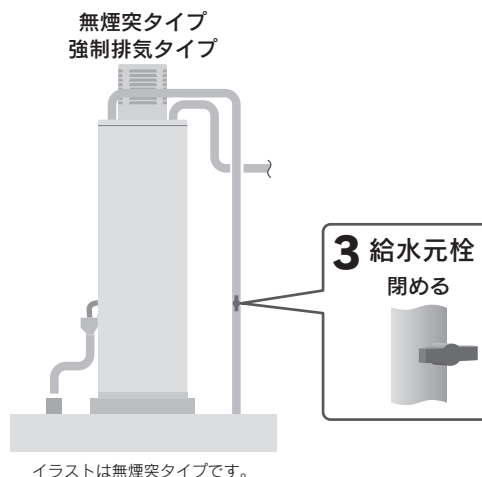
給湯栓を閉めて**3**を行ってください。

3 すべての給水元栓・給湯栓を閉め、水道メーターが回っていないことを確認する

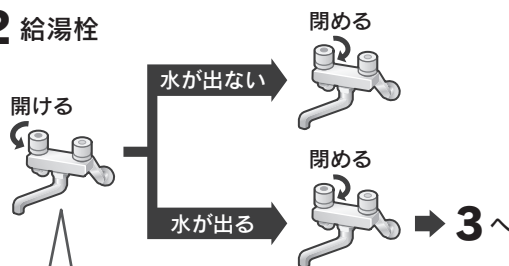
給水・給湯配管が凍結すると、配管・給水元栓・給湯栓が破損することがあります。

水道メーターが回っている場合は水漏れの可能性がありますので、お買い求めの販売店にご連絡ください。

4 「ご使用前の準備と確認」とリモコンに付属の取扱説明書に従って使用する

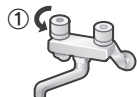


2 給湯栓



●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は「冬の凍結による破損防止について」の「機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。 **19ページ**

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 運転音の確認以外は必ず運転を停止し、機器が冷めてからバックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にして行ってください。**12ページ**
- 金属部に充分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

点検・手入れの必要事項、時期、方法

毎日

油漏れ、油のたまり、油のにじみ

機器や油タンクの送油経路、特に接続部などから油漏れ、油のたまり、油のにじみがないことを確認してください。

機器外観

排気口・給気部・排水配管の先端

ゴミやほこりでふさがれていないことを確認してください。

外装

部分的に変色していないこと、また錆びて穴が開いていないことを確認してください。

運転音

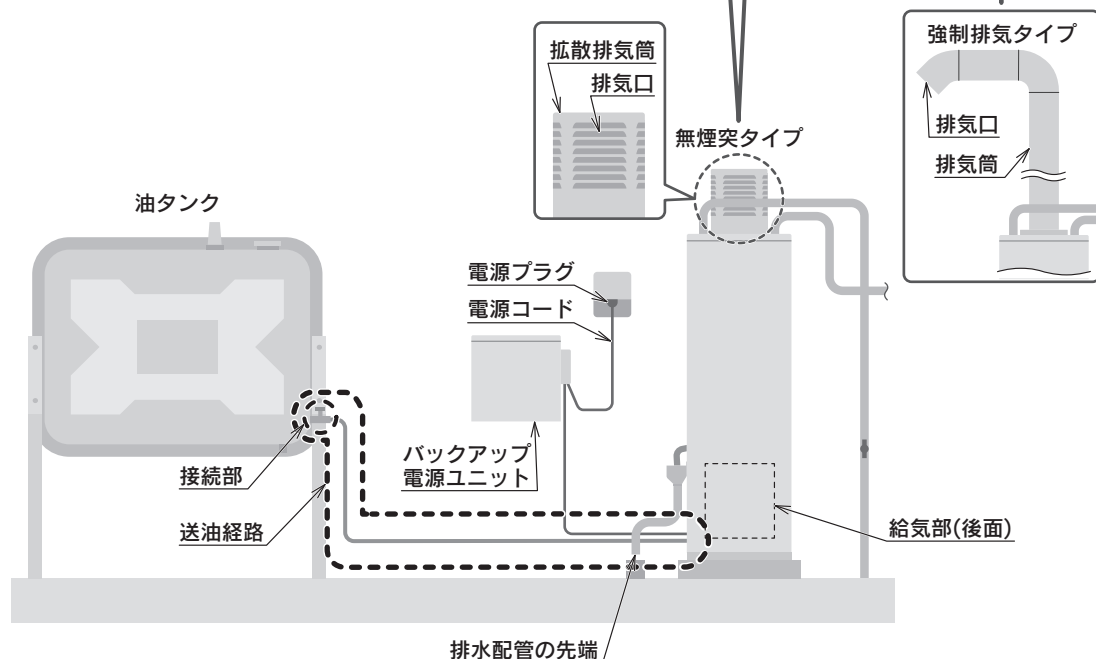
運転中に機器から異常な音がしていないことを確認してください。

周囲の可燃物

機器・排気筒・拡散排気筒・油タンクの周囲に引火性危険物や燃えやすいものがないことを確認してください。

排気筒・拡散排気筒の接続部の緩み、外観

排気筒の接続部分や拡散排気筒に緩みがないこと、またススがついていないことを確認してください。
緩んでいたり、ススがついていたりするときはお買い求めの販売店に点検を依頼してください。



適時に

積雪時の注意

積雪や屋根から落ちた雪により給気部や排気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。雪でふさがれるおそれがある場所に設置されている場合は、給排気に影響がないように防雪処置を行ってください。



リモコン

- 水や化学ぞうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
- ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。また、塩素系カビ洗浄剤や酸性浴室用洗剤は使用しないでください。変色などの原因になります。

水フィルタの掃除

水フィルタにゴミがたまるとお湯が出にくくなりますので、定期的に掃除をしてください。

1 給水元栓を閉める

2 屋内の給湯栓を1箇所開ける

3 水フィルタをゆっくりはずし、掃除する

※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

水フィルタをはずしたときに配管内に残っている水が出ますが、異常ではありません。掃除は歯ブラシなどを使用してください。フィルタを変形させたり、Oリングやゴムパッキンに傷をつけないように注意してください。

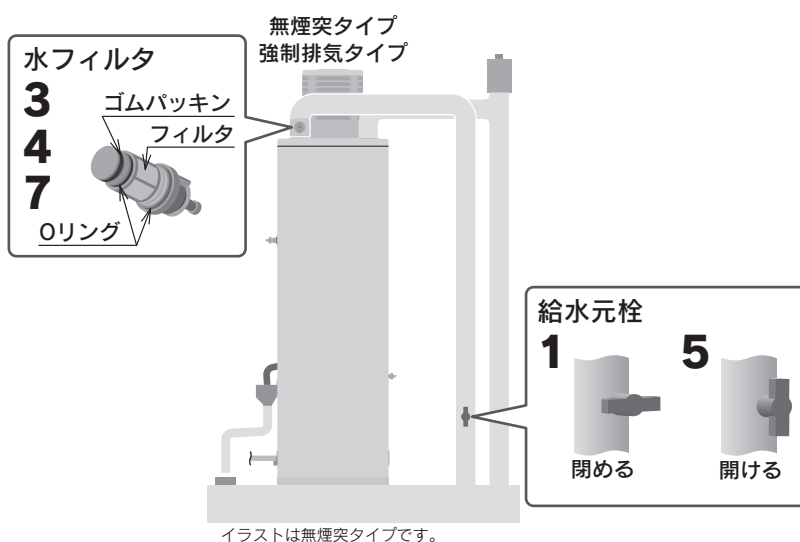
4 水フィルタを元通りに取付ける

5 給水元栓を開ける

6 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

7 水フィルタから水漏れがないことを確認する

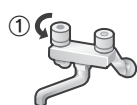


給湯栓

2

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいにする
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする
②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。水栓メーカーにより形状が異なります。

水漏れ

機器や配管などから水漏れしていないことを確認してください。

日常の点検・手入れのしかた

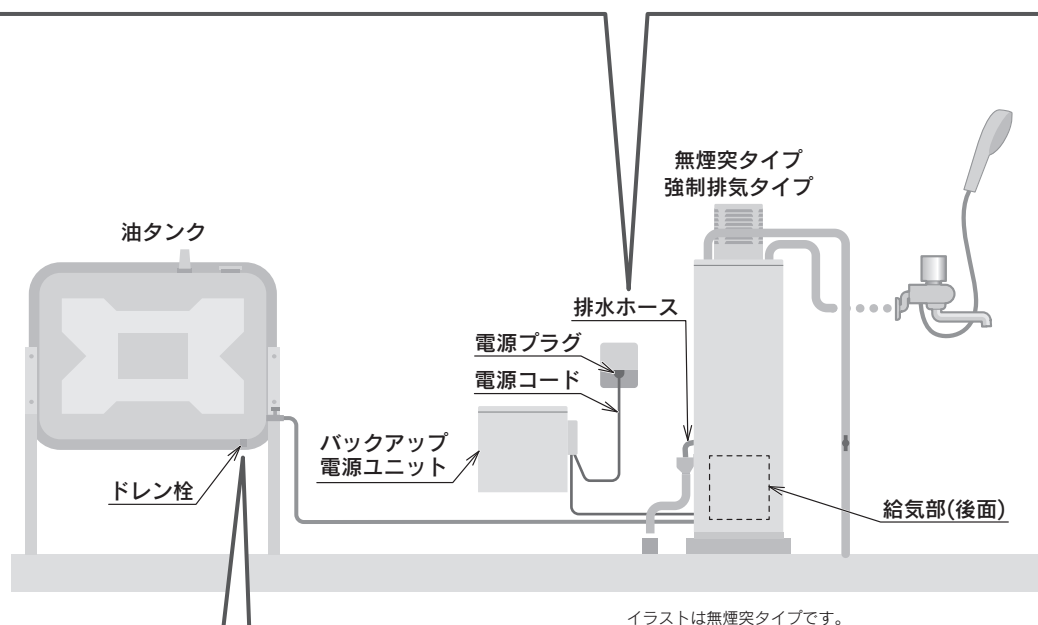
1年に1回以上

ほこり

機器外面のほこりや汚れは、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。
手袋などの保護具をして行ってください。
特に機器後面の給気部にたまったほこりをふきとってください。

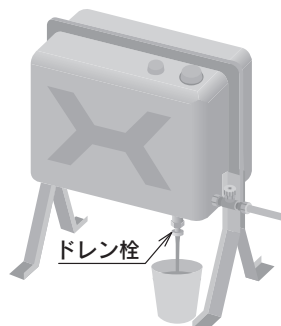
排水ホースの確認

バーナーが燃焼していない状態で、排水ホースから水が出ていないことを確認してください。
(燃焼中または燃焼後約1分間は水が出ることがありますが、異常ではありません。)
常に水が出ている場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。



油タンク

油タンクの底に結露した水がたまります。ドレン栓を開けて抜きとってください。
(ドレン栓の形状はタンクによって異なります。)



油ストレーナ(機器内部)の点検

油ストレーナに水やゴミがたまることがあります。点検には分解作業が必要ですので、お買い求めの販売店に依頼してください。

熱交換器の掃除

熱交換器に湯あかがたまるとお湯の沸き上げに時間がかかりますので、定期的に掃除してください。

1 リモコンの運転スイッチを「切」にする

2 給湯栓を開け、じゃ口から出るお湯が水になったら閉める

出始めのお湯は熱いことがあります。やけどに注意してください。

3 バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にする 12ページ

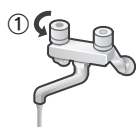
4 給水元栓を閉める

5 機器の補助熱交排水栓①・缶体排水栓と屋内の給湯栓を1箇所開ける

中和器排水栓は開けないでください。

●2ハンドル混合水栓

①給湯栓を開ける



●シングルレバー混合水栓

①湯側いっぱいに戻す

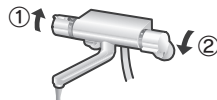
②給湯栓を開ける



●サーモスタット付混合水栓

①最高温度にする

②給湯栓を開ける



イラストはイメージです。
水栓メーカーにより形状が異なります。

6 水フィルタ②をはずし熱交換器内の水を排水する ※水フィルタはエアチャージ栓を兼ねています。

7 水フィルタ②を取付け、補助熱交排水栓①を閉める

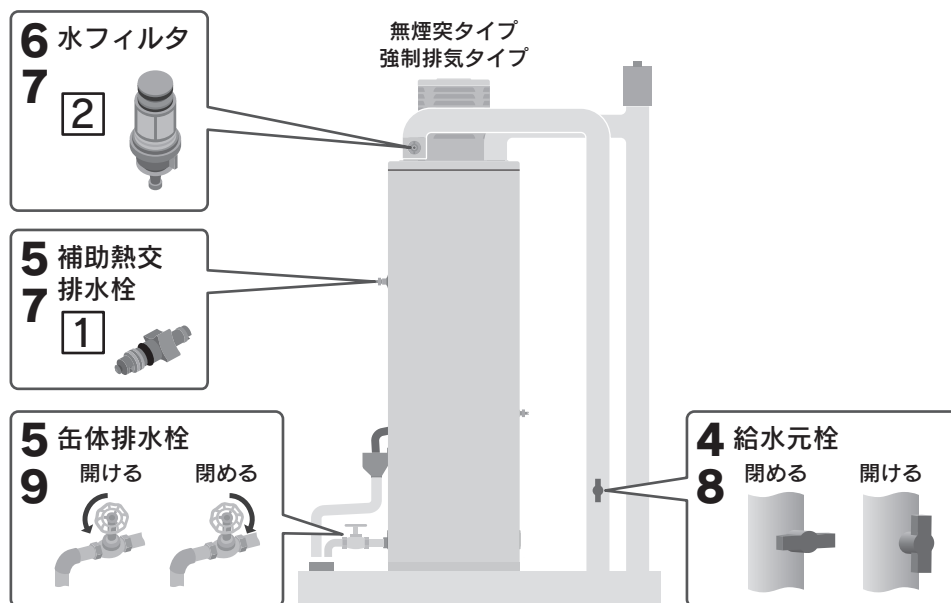
8 給水元栓を開ける

9 缶体排水栓からきれいな水が出てきたら、缶体排水栓を閉める

10 給湯栓から水が連続的に出てきたら、給湯栓を閉める

はじめは空気混じりの水が出ます。

11 バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「入」にする 12ページ



イラストは無煙突タイプです。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。(定期点検は有料です。)

法定点検

- この機器は消費生活用製品安全法により点検期間に法定点検(有料)を受けていただくことが求められています。(製品の所有者などの責務：消安法第32条の14)
- この機器の設計標準使用期間10年の前後それぞれ1年間(製造後9年から11年)を法定点検時期と設定しています。ご登録いただいた所有者情報に基づき、法定点検期間の直前に弊社より点検通知を送付いたしますので、添付のはがき(所有者票)に必要な事項をご記入のうえ、必ず返送してください。
- 詳しくは「特定保守製品についての説明書」をご覧ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

故障ではない場合がありますので、修理を依頼する前にもう一度確認してください。

こんなときは	確認してください
お湯も水も出ない	● 断水していませんか。 ● 給水元栓が全開になっていますか。 ● 配管が凍結していませんか。凍結が解消するまでお待ちください。 21ページ
給湯栓を開けてもお湯が出ない お湯の出が悪い	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 10ページ ● リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 ● 水フィルタにごみなどがつまっていませんか。掃除してください。 23ページ ● 給湯栓のフィルタにごみなどがつまっていませんか。掃除してください。 ● サーモスタット付混合水栓のシャワーの勢いが弱いときは、リモコンの給湯温度を高くするとシャワーの勢いが強くなります。
お湯が出なくなった	● 燃料切れしていませんか。給油してください。 10ページ ● 安全装置の作動が考えられます。 29ページ リモコンにエラーコードを表示している場合は「エラーコード」に従って処置を行ってください。 30・31ページ ・ 対震自動消火装置の場合 「100」を表示します。 ・ 燃焼制御装置の場合 「110」・「120」・「130」のいずれかを表示します。 「130」を表示した場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてお買い求めの販売店にご連絡ください。 ・ 過熱防止装置の場合 「150」・「151」・「160」のいずれかを表示します。この場合は、リモコンの運転スイッチを「切」にした後、バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電後、復帰したのにお湯が出ない	● リモコンの運転スイッチを「入」にして使用してください。
給湯栓を開けてもすぐにお湯にならない	● 配管内に残っている水が出てくることがあります。お湯が出るまでしばらくお待ちください。 ● ECOスイッチを「入」にしているときは、しばらくお湯を使用していない状態が続いた後にお湯を使用すると、設定温度のお湯になるまで時間がかかることがあります。
お湯がぬるい (設定した温度にならない)	● リモコンの給湯温度はめやすです。配管の放熱により、設定温度よりも低くなる場合があります。 ● サーモスタット付混合水栓を使用してぬるいときは、リモコンの給湯温度を確認してください。湯温安定のためリモコンの給湯温度は混合水栓の設定温度より高めに設定して使用してください。 ● 1箇所の混合水栓のみお湯の温度がおかしいときは、混合水栓故障の可能性もあります。
ECOスイッチが「入」のときに給湯設定温度を上げても設定した温度にならない (お湯がぬるい)	● 太陽熱温水器を接続している場合、太陽熱温水器のお湯の温度によっては、バーナーが燃焼しないことがあります。この場合はECOスイッチを「切」にして使用してください。
お湯の温度が上下したり水になったりする お湯の量が増減する	● 次の場合が考えられます。 ・ お湯を出したり止めたりをくり返したとき。 ・ 2箇所以上でお湯を使用したとき。 ・ 水道の圧力が変動していたとき。
低温のお湯が出ない	● 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯栓をもう少し開けて水と混ぜて使用してください。
高温のお湯が出ない	● 給湯温度の設定が低くなっていませんか。
給湯温度が変更できない	● 操作しているリモコンが優先になっていますか。優先を切換えてください。
お湯が白く見える	● 水に溶けていた空気が給湯器内で加熱され、温度や水圧などの条件が重なったときに、細かい気泡となって出てくる自然現象です。ビールの泡のようなもので、体には無害です。

故障かな？と思ったら

	こんなときは	確認してください
機器	排気口から湯気が出る	● 排ガス中の水蒸気が、冷たい外気に触れて白く見えることがあります。異常ではありません。
	燃焼表示が消えてもしばらくの間機器から音が出る	● 燃焼室内の排ガスを排出するため、送風機が約30～60秒間動きます。
	排水用ホースからお湯(水)が出る	● 燃焼中は上昇した機器内の圧力を逃がすときにお湯が出ます。 ● この機器は高効率型ですので、燃焼中は機器内で発生した凝縮水が出ます。
	燃料を切らした後、給油しても火がつかない	● 「燃料切れをしたときは」に従って、送油経路の空気抜きを行ってください。 10ページ

リモコン	リモコンに何も表示しない 運転スイッチが「入」にならない	● 停電していませんか。 ● 電源プラグが差し込まれていますか。 ● その他の装置(電流ヒューズ)の作動が考えられます。 29ページ バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
	リモコン表面が熱く感じる	● 使用中は表示画面が点灯しますので、熱く感じる場合があります。リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が動いているので熱く感じる場合があります。
	スイッチ操作ができない	● チャイルドロックが設定されていませんか。 リモコン取扱説明書参照
	表示画面が省エネモードにならない 表示画面のバックライトが暗い、または消灯している	● 「表示画面省エネモード」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	音声案内をしない、または小さくなった	● 「音声ガイド音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照 ● スピーカーに水がたまると音声小さくなる場合があります。水をふきとってください。
	操作音がしない、または小さくなった	● 「操作音量」の設定を確認してください。 リモコン取扱説明書参照
	操作していないリモコンから音が出る	● 他のリモコンで給湯温度を変更したときなど、操作していないリモコンからも音声やブザーでお知らせすることがあります。
	表示画面の色が変化する	● 表示画面を正面以外から見ると表示色に変化して見えることがあります。また表示内容などにより明るさにムラが生じることがあります。
	表示画面の切替わりが遅い 時計を表示しない	● 気温が下がると表示の切替わりが遅くなる場合があります。 ● 現在時刻を設定してください。 リモコン取扱説明書参照

バックアップ電源ユニット	停電時動作しない (給湯器)	● バックアップ電源ユニットの運転スイッチが「入」になっていますか。 運転スイッチが「入」になっていないと、給湯器電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。 ● バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンで操作していますか。
	停電時動作しない (外部機器) (※1)	● バックアップ電源ユニットの運転スイッチと外部電源出力スイッチが「入」になっていますか。 どちらのスイッチも「入」になっていないと、外部電源出力コンセントにAC100Vは出力されません。
	停電時動作しない (給湯器・外部機器) (※1)	● バッテリー残量が少なくなっていることが考えられます。 ● 充電時間は充分経過しましたか。 ● バックアップ電源ユニットの電源プラグはコンセント(商用電源)に差し込まれていますか。 停電中は充電できません。

※1 外部機器とはバックアップ電源ユニットの外部電源出力コンセントに接続している機器のことです。

安全装置

安全装置	はたらき
対震自動消火装置	地震や強い振動、衝撃を受けたときに運転を停止します。
燃焼制御装置	バーナーが点火しないとき・使用中に炎が消えたとき・異常な燃焼をしたときに運転を停止します。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに運転を停止します。
過熱防止装置 (ハイリミット)	機器内のお湯の温度が異常に上昇したときに運転を停止します。

その他の装置

その他の装置	はたらき
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように、凍結予防ヒータが作動して凍結を予防します。 凍結のおそれがなくなると、凍結予防ヒータは停止します。
電流ヒューズ	万一内部配線のショートや部品の故障などで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて運転を停止します。
送風機ヒューズ	
中和器つまり検知装置	中和器や配管がつまり、ドレン水の排出ができなくなると、エラーコードでお知らせします。
油切れ予告装置 (別売部品)	リモコンに灯油の残量を表示し(※)少なくなると、エラーコードでお知らせします。

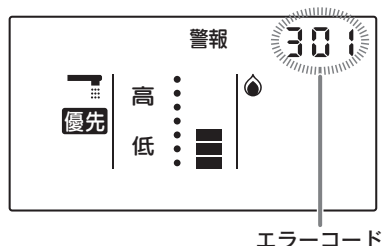
※灯油の残量を表示しないタイプもあります。 10ページ

故障かな？と思ったら

エラーコード

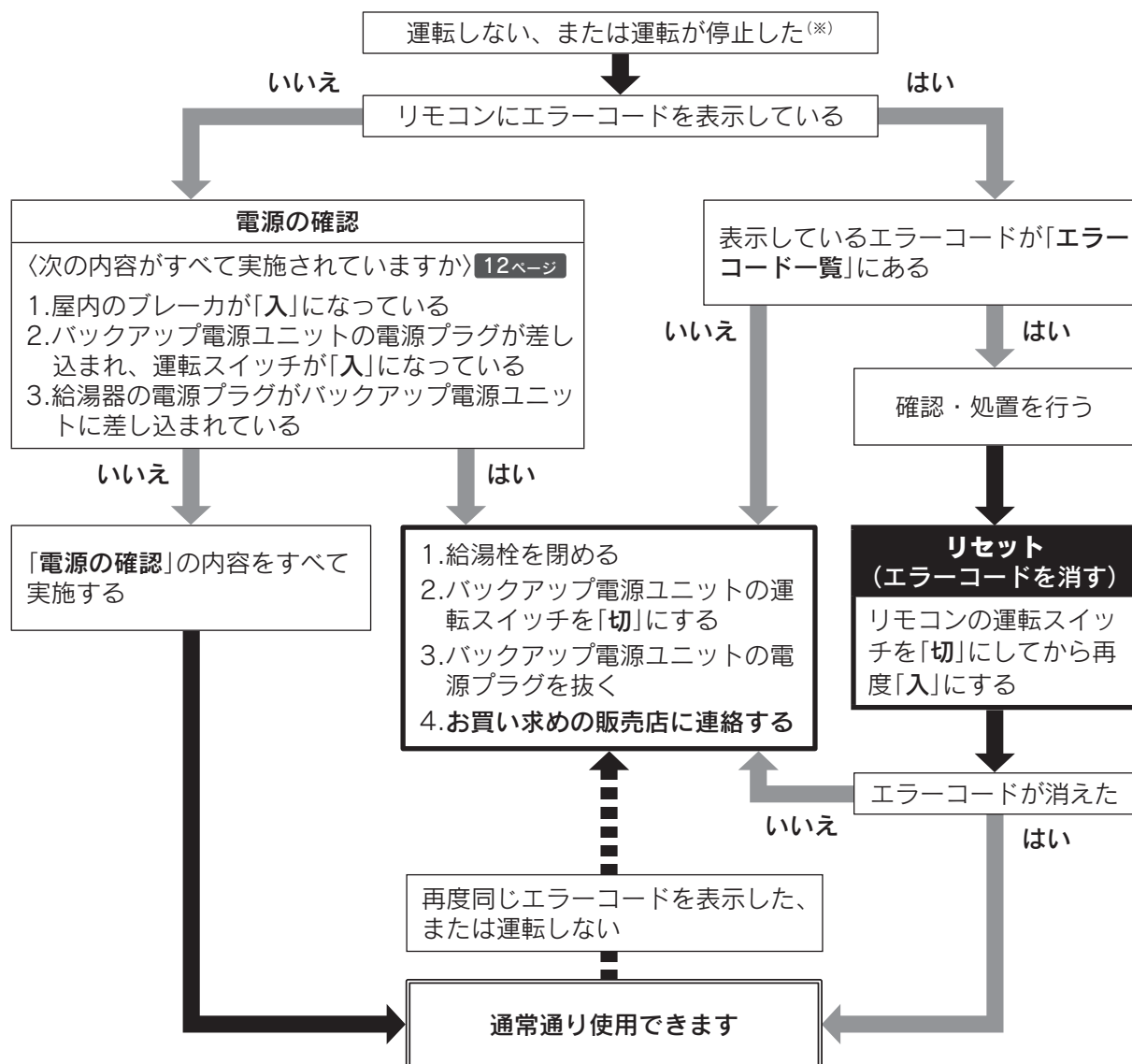
異常・故障の場合はリモコンにエラーコードを表示します。

エラーコード表示位置



リモコンにエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



※運転を停止しないエラーコードもあります。

エラーコード一覧

エラーコード	説 明	確 認・処 置
100	地震や強い振動・衝撃があった	機器および周囲に異常がないことを確認してください。
110	着火できない	燃料切れをしていませんか。油タンクに灯油があることを確認してください。油タンクの送油バルブは充分開いていますか。
120	燃焼中に火が消えた	（燃料切れをしていた場合は、給油後リセットを2、3回行ってください。約8回リセットを繰り返すと、お客さまによるリセットができなくなりますので注意してください。 10ページ ）
301	外気温を検知できない （警告表示）	使用できますが、凍結予防装置が作動しません。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
480	油切れ予告装置の異常を検知した （警告表示） （別売のOC-5を取付時）	油切れ予告装置のコネクタが制御基板に差し込まれていない、または油切れ予告装置を取付けていないのに取付けの設定を行っていませんか。 油切れ予告装置を正しく取付けている場合は故障や断線が考えられます。使用できますが、お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
740 750 760	通信異常	バックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから再度押して「入」にします。（リセットの必要はありません。）
830	灯油の残量が少ない （警告表示） （別売のOC-5またはOC-31） を取付時	油タンクに灯油を入れてください。
888	設計標準使用期間経過 （警告表示）	お早めに法定点検を受けてください。 （法定点検の詳細は別紙の「特定保守製品についての説明書」を参照してください。） 「888」表示は運転スイッチを10秒間に5回以上押すことで一時的に消すことができます。（点検を受けないと1年後に再表示します。）法定点検を受けた後は、3年後に再表示します。 連 絡 先：株式会社長府製作所 ☎ 電話 0120-921-971（通話料無料） 受付時間：（平日）9：00～18：00 ※年末年始を除く
920	中和器寿命（警告表示）	しばらくは使用できますが中和器の交換が必要です。 お早めにお買い求めの販売店にご連絡ください。
930	中和器寿命（機能停止）	使用できません。 お買い求めの販売店にご連絡ください。
EE	バックアップ電源ユニットの異常を検知した	1.バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜くと、バックアップ電源ユニットに接続しているリモコンに3桁の数字でエラーコードを表示します。 2.表示したエラーコードを確認後、バックアップ電源ユニットの電源プラグをコンセントに差し込んでください。 3.バックアップ電源ユニット取扱説明書の「エラーコード一覧」に従って、2.で確認したエラーコードの確認・処置を行ってください。

■警告表示について

エラーコードを表示していても機器は使用できますが、すみやかに確認・処置を行ってください。

運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷、自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったときはバックアップ電源ユニットの運転スイッチを「切」にしてから再度押して「入」にした後、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

中和器について

- 中和器の寿命が近づくとエラーコード「920」を表示し、中和器の交換時期をお知らせします。
- 中和器の寿命が過ぎるとエラーコード「930」を表示し、運転を停止します。
この場合は中和器を交換しないと運転できません。お買い求めの販売店に交換を依頼してください。
同時に機器の点検をおすすめします。

仕 様

型名	EHI-4565SG-2	
型式の呼び	EHI-456	
種類	圧力噴霧式・貯湯式急速加熱形・水道直結式・家庭用・屋外用開放形・屋内外用半密閉式強制排気形	
点火方式	高圧放電式	
使用燃料	灯油(JIS1号灯油)	
燃料消費量	47.7kW(4.64L/h)	
連続給湯効率	95.0%	
連続給湯出力	45.3kW(39,000kcal/h)	
停電時給湯可能量	720L以上(給水温度15℃、出湯温度40℃)	
熱交換器容量	17.0L(主熱交:13.8L 補助熱交:3.2L)	
使用圧力 (最高使用圧力)	0.1MPa(1.0kgf/cm ²)	
伝熱面積	1.14m ² (主熱交:0.86m ² 補助熱交:0.28m ²)	
外形寸法	高さ 933mm×幅300mm×奥行 591mm	
質量(満水時)	38kg(56kg)	
電源電圧及び周波数	100V 50/60Hz	
定格消費電力	点火時	110/105W
	燃焼時	85/80W
待機時消費電力	1.7W	
排気筒の呼び径	100	
排気温度	260℃以下	
騒音レベル	45dB	
ノズル	噴霧量	1.2GPH
	スプレーパターン	テラバン社のAパターン
	噴霧角度	60°
電流ヒューズ	10A	
送風機ヒューズ	3A	
安全装置	対震自動消火装置・燃焼制御装置・停電安全装置・過熱防止装置	
その他の装置	凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ・中和器つまり検知装置・油切れ予告装置(別売部品)	
付属品	取扱説明書(保証書付)・工事説明書・所有者票袋・排水用ホッパー 送油管・給水口保温材・転倒防止金具・バックアップ電源ユニット	
区分名(省エネ法)	B	
エネルギー消費効率	95.0%	

ご使用の前に

必要なときに

据付け

据付工事は販売店に依頼する

- 据付けや移動工事はお買い求めの販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

- 据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。
工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店または据付業者とよくご相談ください。
また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

- 設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。
騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられていることをもう一度確認してください。

試運転

試運転はお買い求めの販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

- 工事説明書の「試運転」に従い行ってください。

●このページは空白です。

●このページは空白です。

長府石油瞬間給湯器保証書(販売店様控)

型 名	EHI-4565SG-2		
★製 造 番 号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

長府石油瞬間給湯器保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	EHI-4565SG-2		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販売店	住所・店名 電話 ()
★お客様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 給水・給湯・ふろ・暖房配管等の錆や異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水を給水したことに起因する不具合
- (13) 地下水・井戸水を給水したことにより発生した析出物(炭酸カルシウムなど)に起因する不具合
- (14) 公害による不具合
- (15) 電気・水・燃料等の供給トラブルに起因する不具合
- (16) 指定規格以外の電気・燃料・熱媒等を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 ☎(083)248-1111

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」[27～31ページ](#)をもう一度確認していただき、直らないときは保証書(前ページ)に記載の**お買い求めの販売店にご連絡ください。**

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
 - ①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
 - ②修理に使用した部品代金です。
 - ③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

品名	石油瞬間給湯器
型名	EHI-4565SG-2
故障の状況	できるだけ詳しく
お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日	

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後11年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

一般のお客様から
のお問い合わせは、
フリーダイヤルへ



0120-925-339

携帯電話からは **0570-666-339**
(通話料金がかかります)

お客様から取得いたしました個人情報
は、お客様へのお問い合わせ対応を目的
として利用し、適切に管理します。
修理業務等を委託する場合や正当な理
由がある場合を除き、第三者に開示・
提供いたしません。

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する
お問い合わせ

24時間365日受付

商品に関する
お問い合わせ

平日 8:00～19:00
土日祝 8:00～17:00

愛情点検



こんな症状は
ありませんか

- 水漏れや油漏れがある。
- 煙が出たり、強い臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いがする。
- 異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、リモコンの運転
スイッチを「切」にした後、バックアップ
電源ユニットの運転スイッチを「切」に
して、必ず販売店に点検・修理を依頼して
ください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所



本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1